

定例記者会見

日時 2月18日(木) 15時から
場所 市役所 4階大会議室

- 1 開 会
- 2 配布資料の確認
- 3 市長挨拶
- 4 記者発表(市長)
 - ① 令和3年度 当初予算概要
 - ② 第2弾 チームにらさきエール商品券事業
 - ③ グリーンゾーン認証取得応援給付金支給事業
 - ④ 登録有形文化財 大村家住宅リニューアルオープン
 - ⑤ 韮崎市お試しハウスの開設
 - ⑥ コワーキングスペース&サテライトオフィス
 - ⑦ 円野屋内運動場の完成
 - ⑧ 韮崎大村美術館企画展「花 たおやかに咲く」
- 5 質疑応答
- 6 令和3年第1回韮崎市議会定例会案件について(総務課長・総合政策課長)
- 7 質疑応答
- 8 その他
- 9 閉 会



TEAM
NIRASAKI
山梨県韮崎市

令和3年度 韮崎市一般会計当初予算

総額			140億5,500万円
主な歳入			予算額
			構成比
市	税		47億7,345万円
地方譲与	税		1億3,300万円
地方交付	税		21億3,600万円
分担・負担	金		2億2,382万円
使用・手数	料		2億4,454万円
国庫支出	金		16億3,104万円
県支出	金		10億9,732万円
基金繰入	金		8億5,239万円
諸収	入		2億7,419万円
市の	債		12億160万円
その他	他		14億8,765万円
主な歳出			予算額
			構成比
人件	費		22億6,536万円
扶助	費		22億1,321万円
その他一般行政	費		55億2,836万円
普通建設事業	費		12億9,260万円
災害復旧事業	費		0万円
公債	費		16億7,998万円
貸付	金		720万円
繰出	金		9億8,963万円
積立	金		4,866万円
その他	他		3,000万円
地方債現在高[一般会計](令和3年度末見込)			193億4,819万円
1人当たりの借金			67万1千円
基金残高[一般会計](令和3年度末見込)			40億3,885万円
1人当たりの貯金			14万円
首長の給与(月額)			76万2千円
首長の交際費			100万円

※ 主な歳入・主な歳出は千円単位を切り捨て

※ 人口はR3.2.1現在:28,826人(外国人含む。)

予算編成状況

(単位:千円・%)

会計名	R3当初予算	R2当初予算	増減額	増減率
一般会計	14,055,000	14,222,000	△ 167,000	△ 1.2
特別会計 国保特会外10会計	6,006,870	6,094,021	△ 87,151	△ 1.4
企業会計 病院他3会計	6,240,335	6,056,772	183,563	3.0
総合計	26,302,205	26,372,793	△ 70,588	△ 0.3

令和3年度 主要事業等

予算額
(単位:千円)

当初予算概要
ページ番号

【新規】 母子健康教育事業費 317 P 31

子育て支援アプリに、妊娠期から3歳頃までの子育てに必要な情報を随時提供する「きずなメール配信機能」等を追加し、子育て支援の充実を図る。

【新規】 小中学校情報システム管理費 19,959 小学校 P 39
中学校 P 42

教育のICT化を加速するため、小中学校の普通教室1台ずつとなる電子黒板74台と、GIGAスクール用端末の授業支援への活用や自主学習に取り組める学習支援ソフト等を導入する。

【新規】 地域おこし協力隊活用事業 12,872 グリーンロッジ P 43
赤ワイン P 88
空き家対策 P 94

新たに地域おこし協力隊3名を雇用し、空き家・定住対策、葎崎産赤ワインのブランド化、甘利山グリーンロッジを活用した自然体験・山岳観光の3つの分野の事業の充実を図る。

【新規】 大村家住宅管理運営費 4,346 P 47

今年度改修工事を実施した大村智名誉市民の生家である住宅と隣接する土蔵をセミナーハウスやお試しシェアハウスとして活用する。

【新規】 スポーツコミッション事業費 2,050 P 66

市内スポーツ事業の振興やスポーツイベント等誘致による地域活性化を図るため、葎崎市スポーツコミッションを設立するための調査、研究を行う。

継続 地域体育館建設事業費 53,776 P 67

建築から約50年を経過する地域の3体育館について、市民スポーツや文化の振興、避難所としての機能の充実を図るため、令和元年度に中田屋内運動場を建設し、本年度は円野屋内運動場を建設中であり、来年度以降穴山屋内運動場の建設に着手する。
穴山屋内運動場設計、既存施設解体

継続 総合運動場整備事業費 18,443 P 67

整備後40年以上が経過している市営総合運動場の整備に向け、令和元年度に基本構想・基本計画を策定し、現在、PFI等アドバイザー業務委託により手法等を検討しているが、来年度は整備に向けた用地等の調査を行う。
現況測量・地質調査等

【新規】 災害対策関連 54,691 P 69

避難所に災害種別による利用可否等を表示した看板を設置する。【10ヶ所】
電柱等に浸水深や土砂災害警戒区域等の看板を設置する。【87ヶ所】
耐震性防火水槽を2基新設する。(神山町、竜岡町)
避難所となる小中学校体育館や文化ホールなどのトイレを洋式化する。【83基】

拡大 高齢者タクシー利用助成事業 3,856 P 72

市内5地区の公共交通空白地域で実施している70歳以上の高齢者に対するタクシー利用助成の地域を拡大し、現在、市民乗合タクシー事業として、実証実験している地域に試験運行する。

拡大 民間宅地開発促進事業費 4,610 P 77

住宅用地の供給を促進し良好な住環境整備を推進するため、分譲用宅地として開発整備を行う民間事業者及び土地所有者に対し助成を行う。
事業者 20万円/区画(下水有)・15万円/区画(下水無)
25万円/事業(埋蔵文化財本調査)
2,000円/㎡(道水路寄附分)
2万円/m(配水管寄附分)
(開発面積1,000㎡以上、都市計画区域、上限450万円)
土地所有者 譲渡価格の5%(上限100万円)

継続 定住促進住宅改修事業費 132,787 P 78

祖母石、藤井、竜岡にある定住促進住宅への入居者の増加を図るため、内装等の改修工事を実施する。入居期限が令和2年度末である栄住宅は、昭和42年度建設で老朽化が著しく、再活用のため解体工事を実施する。

【新規】 農業団体育成事業費 698 P 86

農家の経営安定を図るため、これまでの果樹共済に加え収入保険、園芸施設共済加入者に対し助成を行う。

継続 緊急経済対策保証料等助成事業費 5,087 P 90

新型コロナウイルス感染症の影響により、融資を受けた中小企業の経営の安定を図るため、利子と信用保証料の一部を助成する。
利子補給金 50%(借入後1年間・50万円限度)
保証料助成 50%(50万円限度)

【新規】 チームにらさきエール商品券事業費【第2弾】 97,702 P 90

昨年11月に地域経済の回復のため販売したチームにらさきエール商品券の第2弾として、プレミアム分は30%とし、多くの市民が利用できるよう販売方法を検討して実施する。

【新規】 男性の育児休業取得促進事業 700 P 94

市内の中小企業において、3歳未満の子を養育するために連続10日以上の子育て休業を取得した場合、事業者に30万円、労働者に5万円を給付し、男性の育児参加や家庭と仕事の両立を支援する。

【新規】 広聴広報事務費 4,101 P 96

今年度から実施しているインフルエンサーによる情報発信のほか、市民記者制度を創設し、市民目線の身近な情報を広報にらさきやSNS、ホームページで紹介する。また、市内地区の歴史や自然、文化などを市内外に発信するためテレビ番組を製作する。

令和2年度 補正予算

継続 農福連携事業費 1,215

新型コロナウイルス感染症の影響により、労働機会が減少している就労継続支援事業所の利用者に、農業活動を委託し、雇用の創出と屋外での活動による感染リスク回避を図る。

【新規】 グリーンゾーン認証取得応援事業費 9,300

新型コロナウイルス感染症対策として、県が創設したグリーンゾーン認証制度の認定を受ける(た)事業者に対し助成を行い、事業者の感染症対策の徹底と市民への周知を図る。

継続 新型コロナウイルス感染症対策店舗等応援事業費 2,970

誘客促進のための感染症対策や業務転換を目的にした店舗の改修費用の一部を助成する。

【新規】 小中学校施設整備事業費 12,298

新型コロナウイルス感染症対策として、換気を徹底するため、市内7校の小中学校に網戸を設置し、手洗い場の増設、改修を行う。

② 第2弾 チームにらさきエール商品券事業

1. 目的

第1弾に引き続き、新型コロナウイルス感染症による地域経済への影響を緩和するため、プレミアム付商品券を発行し、地域における消費を喚起・下支えします。

2. 商品券の内容

(1) 購入対象者 市内在住の方(購入時、蕪崎市に住民登録している方)

(2) 購入限度額・販売開始日・購入方法(予定)

マイナンバーカードの取得促進を図るため、未取得者より、早く、また2冊多く、購入できます。

【マイナンバーカードを取得している方】

販売期間: 令和3年7月1日(木)から先行販売を行い、完売するまで

販売上限: 一人4冊まで

購入方法: マイナンバーカードを提示し、システム確認※の後、商品券を購入

※住民登録リスト及び購入履歴管理システムを想定

【マイナンバーカードを取得していない方】

販売期間: 令和3年7月16日(金)から完売するまで

販売上限: 一人2冊まで

購入方法: 本人確認書類を提示し、システム確認の後、商品券を購入

※7月中は日曜日も販売予定です(土曜日は販売しません)。

(3) 販売場所 蕪崎市役所

(4) プレミアム 30%(1冊13,000円分の商品券を10,000円で販売)

(5) 販売総額 3億9千万円(30,000冊)

(6) 使用期間 販売開始日～令和4年1月31日(月)

(7) 注意事項 他の商品券等や電子マネーの入金・たばこなどは購入できません。

3. 取扱店募集 令和3年3月から募集

4. 実施主体

■商品券事業実施者: 蕪崎市 (担当: 産業観光課 商工観光担当)

問い合わせ TEL: 0551-22-1111(内線 213~216)

■商品券事業受託者: 蕪崎市商工会

5. その他(参考: 第1弾チームにらさきエール商品券実施概要)

・発行総額 3億9千万円(内、プレミアム分90,000千円)

・販売期間 令和2年11月8日(日)～令和2年11月15日(日) ※8日間で完売

・使用期間 令和3年2月21日(日)まで

・取扱店舗 262店舗

③ グリーンゾーン認証取得応援給付金支給事業

1.趣旨・目的

感染症に強い事業環境づくりを推進するため、山梨県が創設したグリーンゾーン認証制度で認定を受けた事業者に対して一律10万円を給付します。

2.対象事業者

令和2年6月25日以降にやまなしグリーンゾーン認証を受け、引き続き3カ月以上、登録を受けている事業者

対象業種： 飲食業、宿泊業、ワイナリー、酒造

3.支給額

1事業者当たり100,000円(1回限りの支給)

※事業者が複数の施設等で認証登録されている場合でも、1事業者とします。

4.申請手続き(予定)

(1) 認証取得期限 令和3年5月31日(月)まで

※上記期限内にグリーンゾーン認証を受ける(もしくはグリーンゾーン認証を受けるための申請をしている)必要があります。

(2) 給付金申請期間 令和3年4月1日(木)～令和3年9月30日(木)まで

※認証取得期限内にグリーンゾーン認証を取得し(もしくはグリーンゾーン認証を受けるための申請をし)、引き続き3カ月以上認証されている事業者の方が、申請期間に給付の支給申請と請求を行うことができます。

(3) 給付金申請に必要な書類

- ・グリーンゾーン認証取得応援給付金支給申請書兼請求書、
- ・やまなしグリーンゾーン認証通知書(山梨県発行)

(4) 申請場所・方法 原則として郵送での提出

〒407-8501 韮崎市水神1丁目3番1号 韮崎市 産業観光課 商工観光担当 行

5.予算額 グリーンゾーン認証取得応援給付金支給事業費 9,300千円

6.問い合わせ

韮崎市 産業観光課 商工観光担当 TEL:0551-22-1111(内線 213)

④ 登録有形文化財 大村家住宅リニューアルオープン

1.経緯

本市名誉市民である大村智博士が幼少期から山梨大学を卒業するまで過ごした生家の主屋は、明治40年頃、土蔵は大正5年頃に建てられました。地域を代表する養蚕農家の伝統を受け継ぐ建物としての価値が認められ、令和2年4月3日に文部科学省から登録有形文化財(建造物)に登録されました。韮崎市から登録されるのは初めてです。

その後、博士から、大村家住宅が市に寄附されたことを受け、市では、建築当時の状態を残しつつ、後世へ継承・保存していくため、文化庁の助言を受け解体修理・復元を進めてきましたが、このたび改修工事が完了する運びとなりました。

なお、主屋は、ノーベル医学・生理学賞を受賞するという郷土の偉人を生み出した【螢雪寮】として、子どもから大人までの幅広い年代の研修、また、地域住民の集いの場として、セミナーハウスやワークショップ会場などとしての利活用を図り、近接する韮崎大村美術館や温泉施設等とあわせ、交流人口の増加や地域の活性化に資するものとしします。

また、土蔵の1階は【シェアキッチン】として、2階は、「ほどよい田舎でちょうどいい暮らし」をテーマに、本市が進めている移住対策を促進させるため、移住定住希望者の短期滞在型の施設【お試しハウス】として活用します。

2.事業費(見込み)

工事費	137,610 千円	
設計監理委託料	10,890 千円	
備消耗品費	7,000 千円	合計 155,500 千円

<財源内訳>

地方創生拠点整備交付金	77,750 千円
市債	72,000 千円
一般財源	5,750 千円

3.所在地及び構成施設

韮崎市神山町鍋山1880番地1

・主屋(おもや) 通称:螢雪寮

木造平屋建、瓦葺、建築面積 160.71 m²

奥座敷(8帖)・前座敷(8帖)・北中の間(6帖)・南中の間(6帖)

板の間(18帖)・土間(18.7帖)外

・土蔵(どぞう) 通称:お蔵

土蔵造2階建、瓦葺、建築面積 75.91 m²

共同キッチン・調理場／和室1(8帖)・和室2(8帖)・キッチン外



4. 開館時間(土蔵2階を除く主屋・土蔵)

10時～18時(4月～10月)

10時～17時(11月～3月)

5. 休館日

毎週水曜日(水曜日が祝日の場合は翌日)、年末年始(12月29日～1月3日)

6. 観覧料 無料(土蔵2階を除く主屋・土蔵)

7. 使用料

・主屋、土蔵 1 階 シェアキッチン

☆営利または宣伝を目的としない場合

蕪崎市民 4時間当たり 500円

市民以外 // 1,500円

※主屋と土蔵併せて、上記の料金で使用できます。

※市内の小学校・中学校・高等学校の児童または生徒が、教育課程に基づく教育活動として利用する場合などは免除します。

☆営利または宣伝を目的とする場合

蕪崎市民 4時間当たり 1,500円

市民以外 // 4,500円

※主屋と土蔵それぞれ、上記の料金がかかります。

・土蔵 2 階 お試しハウスについては資料 9 ページを参照

8. 申込み(主屋と土蔵 1 階 シェアキッチン)

蕪崎大村美術館 TEL:0551-23-7775

9. その他

供用開始は令和3年4月1日を予定しています。

なお、現地での、蕪崎市名誉市民大村智氏によるプレスリリースを4月中に行います。

(日時は決まり次第、発表します。)

10. 問い合わせ

・管理運営(主屋と土蔵 1 階 シェアキッチン)に関すること

教育課 生涯学習担当 TEL:0551-22-1111(内線267)

・登録有形文化財に関すること

教育課 文化財担当 TEL:0551-22-1111(内線269)

⑤ 韮崎市お試しハウスの開設

1.概要

登録有形文化財大村家住宅の土蔵を改修し、明年度の4月から【お試しハウス】を開設します。県外から本市へ移住を考えている方に、本市での「田舎すぎず、ほどよい便利さが魅力の自然と文化が調和する生活」を気軽に試していただくための短期滞在施設です。

当初、米蔵として使用されていたこの土蔵は、戦時中、疎開者を受け入れるために2階を座敷に改修し、その後大村博士兄弟の勉強部屋として使用されていました。

ノーベル賞受賞者を生み出した部屋で、一定期間本市での日常生活を体験し、地域の環境や雰囲気を感じていただき、移住をサポートしていきます。

2.所在地

韮崎市神山町鍋山1880-1

3.対象者

山梨県外に在住(住民登録)していて、韮崎市に移住を検討している方

4.使用料 無料

5.使用期間

1回の使用につき2泊3日から6泊7日まで(最大3回まで)

※ただし、使用期間満了時にその後の予約がない場合に限り、1回のみ期間の延長が可能。

6.定員 最大8名程度 (和室2部屋、それぞれ8畳)

7.主な設備

テレビ・洗濯機・冷蔵庫・エアコン・台所用品等は備えてあります。

寝具は利用者自身で用意していただきます。

お風呂はありません。市内の温泉施設をご利用していただきます。

8.申込方法

電話で仮予約後、申請書類を提出

9.申込み・問い合わせ

総合政策課 人口対策担当 TEL:0551-22-1111(内線 358)

⑥ コワーキングスペース&サテライトオフィス

1. 概要

コロナ禍によりテレワークなどが普及する中、県外から誘致する企業や起業者、学生等が活用するスペースとして、市民交流センターニコリ3階に coworkingスペース及びサテライトオフィスを開設し、移住・定住・二拠点居住等を推進します。

2. 名称 『HiroBa』

※広場で語り合うような雰囲気の中、様々な色(いろ)が集まることで新たな事業を生み出し、蕪崎から発信していけるようにという意味を込めています。

3. 分類及び利用料

分類	内容	利用料(案)
サテライト オフィス	【4名程度利用可能な部屋を2室設置】 県外企業を誘致し移住・定住・二拠点居住などを推進する。 お試しサテライトオフィスの期間なども設け、市の利便性や生活環境などを感じてもらい企業誘致に繋げる。	入会金 10,000 円 月額 25,000 円
レジデンス スペース	【4席設置】 月契約者の固定席としてニコリの住所を使用可能とする。 郵便受けの利用も可能。	入会金 2,000 円 月額 8,000 円
フリースペース (coworkingスペース)	【カウンター5席・対面式12席(6セット)設置】 個人会員やドロップイン(時間借り)で専用デスクを利用できる席を設置。 coworkingスペース利用者が交流・商談等するスペース。	【会員】 入会金 1,000 円 月額 5,000 円 【ドロップイン】 3時間まで 500 円 1日 1,000 円
テレワーク ブース	【2室設置】 音が外に漏れないよう囲われている部屋で Zoom 会議などに使用。	1回 200 円 (3時間まで)
パブリック スペース	飲食や情報交換ができる共有・交流スペースとして使用。	ロッカー使用 会員 月 1,000 円 ドロップイン 1日 100 円

4. 利用時間 午前 9 時 30 分～午後 9 時 30 分

5. 利用開始予定日 令和 3 年 4 月 20 日(火)

6. 施設運営 (株)まあめいく
TEL:0551-22-1121

7. 問い合わせ
総合政策課 人口対策担当
TEL:0551-22-1111(内線 358)



⑦ 円野屋内運動場の完成について

1.施設概要

- ・所在地 韮崎市円野町下円井 1239 番 1(旧施設隣接の旧円野保育園跡地)
- ・概要 木造平屋建て 延床面積 492.14 m²
木材使用内容 約 140 m³(国産杉・国産ヒノキ・ベイ松)
「スポーツ施設整備計画(H30)」に基づいて建設(すでに廃校となっている各町小学校
附属体育館の改築)を予定する 3 館のうち、2 番目の地域体育館として令和 2 年 6 月
26 日着工
地域における中心的な運動施設としてはもとより、文化活動や災害時の避難所として
など、コミュニティ活動に幅広く利用される予定。
なお今後、令和4年度には穴山屋内運動場の建設を予定している。
(令和元年度 中田屋内運動場完成済)

2.完成に伴う竣工式等の予定(社会情勢により、延期・中止の場合あり)

- ・竣工式 令和 3 年 3 月 30 日(火)10 時
- ・供用開始 令和 3 年 4 月 1 日～

3.施工業者

- ・設計及び監理 株式会社 Vent(ヴァン)計画設計室
- ・建築主体工事/外構工事/旧施設解体工事ほか
有限会社 細田工務所
- ・電気設備工事 有限会社 村松電気商会
- ・機械設備工事 株式会社 日設管興

4.建設事業費

- ・約 259,000 千円(旧施設解体等含)
- ・特定財源 社会資本整備総合交付金 4,057 千円(予定)

5.問い合わせ 教育課 スポーツ施設整備担当

TEL:0551-22-1111(内線 272)



花

蕪崎大村美術館
企画展

たおやかに咲く

2021年
3月6日(土) ~ 5月30日(日)

開館時間 午前10時~午後6時(入館は閉館30分前まで)
※3月は午後5時閉館

休館日 毎週水曜日

入館料 一般500円(420円)、小中高校生200円(160円)
※蕪崎市内に在住・在学の小中高校生は無料
※()内は20名以上の団体料金
※障害者手帳をご持参の方はご本人と介護の方が1名無料

展示作家 岸田夏子、佐野智子、ラゲーズ・玉、荘司福、
馬場章、郷倉和子、亀高文子ほか

主催：蕪崎市、蕪崎市教育委員会、蕪崎大村美術館

後援：学校法人女子美術大学、一般社団法人女子美術大学同窓会、山梨日日新聞社、
山梨放送、テレビ山梨、テレビ朝日甲府支局、朝日新聞甲府総局、
読売新聞甲府支局、毎日新聞甲府支局、産経新聞甲府支局、山梨新報社、
日本ネットワークサービス、エフエム富士、エフエム甲府、エフエム八ヶ岳、
蕪崎ジャーナル、八ヶ岳ジャーナル、nanairo株式会社

 **ra Art Museum**
蕪崎大村美術館

〒407-0043 山梨県蕪崎市神山町鍋山1830-1
TEL/FAX 0551-23-7775
HP <http://nirasakiomura-artmuseum.com/>

【掲載作品】岸田夏子《ハーモニー》※一部

花 た お や か に 咲 く

葦崎大村美術館企画展

2021年 3月6日(土) ~ 5月30日(日)

花と人の係わりは古く、特に四季のある日本で暮らす私たちは、季節ごとに見られる様々な花の表情からその訪れを知り、詩歌や文学と結びつけながら愛好してきました。今なお、花瓶に生けることで家の中に彩りを加え、またその美しさを楽しんだり、相手に手渡すことで大切に思う心情や祝福する想いなど「気持ち」を表したり、私たちと花は深い関係にあります。美術の世界を見ても多くの作家が花に魅了され、またインスピレーションを受け、絵画や彫刻など形に残しています。

今回の展覧会では、花のなかでも自然の中であるがままに咲く花や、風景に彩りを与えている花たちに焦点を当てます。美しく咲きほころ可憐な姿とともに、自然界の中でしっかりと花を咲かせる芯のある強さをご覧ください、生活の中の花たちを新たな視線で見つめるきっかけ、そして心を少し休め活力を得る機会となりましたら幸いです。



佐野智子「けし」【企画展】



ラグーザ・玉「軽井沢」【企画展】



柏原花子「風の音 - ビッピ姉妹と小人のニルス」【企画展】



堀文子「アフガンの女王」【常設展】

常設展示室

【1階展示スペース】

当館が所蔵する女性作家の作品をご紹介します。
上村松園、小倉遊亀、大久保婦久子、片岡球子、堀文子、三岸節子など

※企画展と併せて展示替えを行っています。

大村智記念室

【1階展示スペース】

大村博士のノーベル賞受賞に関わる資料やスポーツマンとしての足跡、趣味で集めた品々を公開しています。

鈴木信太郎記念室

【2階展示スペース】

洋画家・鈴木信太郎の作品や関連資料を常設で展示しています。やさしい色づかいで描かれた、心がほのぼのとする作品たちをぜひご覧ください。



交通案内

【お車で越しの場合】

中央自動車道「葦崎」ICから約4km(約10分)
(武田乃郷白山温泉の隣)

【公共交通機関をご利用の場合】

■バスを利用

JR中央本線「葦崎」駅から市民バス「上円井上」行き(約10分)
「葦崎大村美術館前」下車徒歩2分

■タクシーを利用

JR中央本線「葦崎」駅から2.8km(約5分)

■市民バス時刻表

行き	葦崎駅 → 葦崎大村美術館前 11:21 14:15 16:20
帰り	葦崎大村美術館前 → 葦崎駅 12:25 15:20 17:20

葦崎大村美術館サテライトスペース

バーナード・リーチ、島岡達三らの陶器、女性作家のブロンズ像、マヤ土器などを展示しています。

場 所：〒407-0015 山梨県葦崎市神山町鍋山 1830-1
葦崎市民交流センター「ニコリ」1階 JR 葦崎駅前すぐ
観覧料：無料 / 休館日：月曜日(祝日は閉館、翌日休館)

！ 感染症拡大の影響を受け、開館日時などを変更する場合がございます。予めご了承ください。詳しくは当館 Web サイトをご確認いただくか、お問い合わせ下さい。

